

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」常総校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	仕切られた相談室、パーテーションスペース設けている。	オープンスペースもさらに有効したい。
	②	職員の配置数は適切である	5			適切に配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			バリアフリー構造で、情報伝達も理解しやすいよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			毎日清掃を行い、清潔で、より良い環境になるよう努めています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			PDCA サイクルで取り組んでいます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		意見や評価を、今後に生かしてまいります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		第三者による評価は実施していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	全員が会議や研修に参加できる時間を作りました。	計画的に研修が実施できるように、努めます。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			アセスメントを行い、状態把握と課題発見、ニーズの特定に努めています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2			使用しています。

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	1		完全に対応し切れていない部分を改善できるよう努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			適切に行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			チームアプローチを行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2			利用者の成長に応じ、適したプログラムで行うよう努めています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			利用者個々の状況に応じて、個別と集団での支援を組み合わせ、プランを作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3		支援内容は担当者の領域という意識が強い傾向もあり改善します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		重要事項は速やかに確認します。その他は翌朝の打ち合わせで共有します。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			毎日、記録を以後の支援に活かします。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4			6ヶ月に1度モニタリングをし、支援計画見直しを行います。
	関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	2		現時点では行っていません。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		対象となる利用者が在籍していないため、行っていません。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2		対象者がいないため現時点では行っていません。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			必要に応じて、連携を行います。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			必要に応じて、連携します。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		現時点では行っていません。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3		現時点では行っていません。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3		参加する予定はありません。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		必要に応じて、モニタリング時以外でも、保護者と面談し対話の機会を設けています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2		担当者が個別に行うこともありますが、事業所としての導入は模索中です。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に、適切に行っています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	1		適切に行っています。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			適切に行ってます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		同時に集まって頂くことが難しいため、実施していません。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			相談や要望については、丁寧に傾聴し、適切に対応しています。

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1		月間予定表の配布が中断されていますので、再開したいと思います。
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	5			徹底した管理を行っています。
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			個々の状況に応じた配慮を行っています。
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2		地域住民との交流は特に行っていません。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	1		保護者にも周知できるよう努めています。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		2		定期的に訓練できていない点を改善します。
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3			利用開始前にアセスメントで聞き取り、把握しています。
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1			利用開始前にアセスメントで聞き取り、把握しています。
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1		担当者止まりもあつた為、共有できるよう改善し続けます。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2			適切な対応をしています。
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1		保護者には同意書でご了解いただき、実施する場合も丁寧にご説明します。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」常総校

保護者等数（児童数）：14 回収数：8 割合：53%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6		2		もう少し大きい方が良い。 部屋数も多い方が良い。	当初ワンフロアでしたが、パーティションで2つの個別スペースを創設しました。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	1			シンプルな間取りでわかりやすいと思います。情報の伝達にも留意しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	1				
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	2			必要に応じて連携する場合も考慮しています。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7					
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6		1		情報が足りない。	連絡帳でもやりとりも可能ですし、ご相談は何時でもお受け致します。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		3			必要と思われる時に開催を検討したいと思います。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	1				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6		1			最大限の配慮をしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6		2			ホームページのブログを定期的に更新してまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	1	2			各種マニュアルを用意し、不測の事態に備えています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	4				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7		1			楽しみにして頂けるよう努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8				もう少しアドバイスが欲しい。	適時適切なアドバイスに努めます。。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。